

20歳になったら子宮頸がん検診を受けましょう

～知ってほしいがん検診～

子宮頸がんとは？



- ・子宮がんには子宮頸がんと子宮体がんの二種類があり、子宮頸がんは子宮の入口(頸部)に子宮体がんは奥(体部)にでき、原因から症状まで異なる
- ・子宮頸がんは20～30歳代前半で急増
- ・子宮頸がん細胞は、性行為等でHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染から、5～10年かかって増殖
- ・初期症状がないため、定期受診により、早期発見が大切

20歳になったら子宮頸がん検診を受けましょう

～知ってほしいがん検診～

子宮頸がん検診の内容



対象年齢

20歳以上（2年に1回）

問診

問診票に初経年齢、月経の状態、自覚症状を記入

診察

内診台にあがり、子宮頸部の状態を観察したり、子宮の大きさや形などを確認

細胞診

専用のブラシで子宮頸部の細胞をこすって採取（痛みはほとんどありません）

20歳になったら子宮頸がん検診を受けましょう

～知ってほしいがん検診～

子宮頸がん検診を受けるには？



- ・子宮頸がんはお住まいの市町村が主体となり、検診を行っています。
 - ・市町村が実施する検診では、費用の一部を負担しており、少ない自己負担で受けることができます。
 - ・20歳になられた方には、無料で受けられるクーポン券が住民票のある市町村から送付されます。
- 活用しましょう！